

令和8年（2026年）度施策評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価者	教育文化財部長 保住 俊博
-----	---------------

○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野	4-(5) 生涯学習	施策の方針	4-(5)-①生涯学習環境の整備・充実
目標とするまちの姿	だれもが手軽に地域の学習資料を利用できる環境が整備されています。教育機関・企業などとの連携により、多様な学習プログラムが提供され、いつでも自由に学習機会を選択して学ぶことができ、世代を超えて市民同士がふれあうことができる生涯学習が推進されています。			
主な取組	(1) 豊かな資源を生かした生涯学習の推進 市民のだれもが、いつでも手軽に学習できる環境を整えるため、生涯学習施設の管理・運営を充実させます。また、教育機関等・企業との連携により資料の収集及び保存方法を充実させ、市民の学習資料として提供することにより、質の高い生涯学習を推進していきます。 (2) 多様な生涯学習機会の提供と周知 人生100年時代を迎える中で、多世代の多様な生涯学習のニーズに対応するため、市が主催する学習講座に加え、教育機関・企業や市民団体・地域団体における講座・イベント等を幅広く紹介し、市民の生涯学習参加の機会の充実を図るとともに、世代を超えて市民同士がふれあい、交流できる学習交流の機会を提供します。			

1. 前年度(評価対象年度)の当該施策の目標

- ・指定管理者と密な連絡・調整を行いながら学習センターの適切な管理運営を行う。
- ・今後予定される図書館の施設整備に伴い、これからの図書館のあり方について検討を進めるとともに、図書館として必要な設備についても協議を行う。
- ・デジタル化した鎌倉の明治以降の所蔵記録写真アルバムの公開準備がおおむね整ったので、公開に向けた作業を行う。
- ・市史編纂事業について、編纂対象時期や形態について検討し、決定を行う市史編纂委員会の発足に向けた事務を取り扱う体制整備の準備を行う。

2. 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	284,993	272,419	406,736	363,629	388,049	407,635
人件費	305,692	320,673	320,297	237,207	246,038	260,661
総事業費	590,685	593,092	727,033	600,836	634,087	668,296

3. 施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	教育-10	社会教育運営事業		10,371	1,105	11,476	現状維持	A	現状維持
	教育-24	社会教育運営事業		1,354	5,660	7,014	現状維持	A	現状維持
	教育-25	吉屋信子記念館管理運営事業		2,917	3,728	6,645	現状維持	A	現状維持
	教育-26	生涯学習センター管理運営事業		296,394	25,679	322,073	現状維持	A	現状維持
	教育-27	市史編纂事業		19	6,904	6,923	拡充	B	拡充
	教育-28	図書館管理運営事業		96,580	217,585	314,165	現状維持	A	現状維持

4. 評価対象年度の主な実施内容

- ・鎌倉市の地域資源を活用した社会教育プログラム(鎌倉武等)を実施した。
- ・吉屋信子記念館を適切に保存、活用していくため、必要な修繕を実施した。
- ・指定管理者と密な連絡・調整を行いながら学習センターの適切な管理運営を行った。
- ・中央図書館及び地域図書館の運営のあり方について、図書館協議会で協議を行った。
- ・デジタル資料については、デジタル化した写真約1,500点の公開と、近代史資料室で過去の企画で作成した資料をPDFや画像データとして登録をすすめている。
- ・市史編纂事業については、市史編纂委員会の発足に向けた事務を取り扱う市史編さん準備委員会を立ち上げ、開催した。

※実施できなかった事業とその理由

5. 成果指標

成果指標①		生涯学習に取り組んでいる市民の割合						出典	市民アンケート調査	
初期値	令和2年1月	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
	44	目標値	45.0	46.0	47.0	48.0	49.0	50.0	%	
		実績値	未実施	47.7	48.4	50.3	52.7	50.2		
		達成率	-	103.7	103.0	104.8	107.6	100.4	%	
成果指標②		市・生涯学習センター主催の生涯学習事業(講座・イベント)参加者の満足度						出典	令和7年度講座・イベントアンケート集計	
初期値	平成31年4月	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
	90.2	目標値	90.2	90.2	90.2	90.2	90.2	90.2	%	
		実績値	未実施	79.0	85.0	84.2	85.3	85.9		
		達成率	-	87.6	94.2	93.3	94.6	95.2	%	

6. 「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

- ・生涯学習に取り組んでいる市民の割合は、令和3年度から微増している。年間を通じて多くの講座・イベントを開催する等、学習機会の創出につとめたことで、目標値を達成することができた。
- ・指定管理者と鎌倉市生涯学習推進委員会が協働で講座を開催するなど、工夫した講座企画を行ったが、参加者の満足度は目標値に届かなかった。市民ニーズをさらに分析することが必要と考える。
- ・利用者が安全で快適に過ごせるよう、中央図書館の館内電気設備の修繕やPCB含有調査を行ったほか、図書返却ポストの更新、図書館情報システムの運営等を行うとともに、視覚障害者用パソコン、点字ディスプレイの購入など読書バリアフリー化を推進し、利用者の利用環境の向上を図った。

7. 主な実施内容と施策の達成状況の分析を踏まえた評価

※主な実施内容と目標とするまちの姿の関係(達成状況とその理由)

「施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果」における貢献度の分析

- ・指定管理者と鎌倉市生涯学習推進委員会の協働による講座、イベントを引き続き開催することができた。新たな主催事業においては、若年層やミドルシニア層などを対象にした企画もあり、今後の生涯学習に取り組む市民の割合の増加も期待される。
- ・図書館管理運営事業は、中央図書館の館内電気設備の修繕やPCB含有調査を行ったほか、図書返却ポストの更新、図書館情報システムの運営等を行うとともに、視覚障害者用パソコン、点字ディスプレイの購入など読書バリアフリー化を実施し、利用者の利用環境の向上に寄与した。

8. 今後の方向性

鎌倉ミライ共創プラン2030 該当施策	2-4 教育
・地域の宝物である鎌倉の豊富な自然・文化・社会資本を存分に生かした多様な講座を実施する。 ・市民や地域のニーズを分析し、学んだ成果が地域の中で活用されていくよう、学習機会の設計をする。 ・学習施設の適切な保存、活用に向けて、計画的に修繕を実施する。 ・今後予定される図書館の施設整備に伴い、これからの図書館のあり方について検討を進めるとともに、図書館として必要な設備についても協議を行う。 ・引き続き、鎌倉の明治以降の所蔵記録写真アルバムのデジタル化を行い、デジタル化できたものから公開に向けた作業を行う。 ・市史編纂事業について、編纂対象時期や形態について検討し、決定を行う市史編纂委員会の発足に向けた事務を取り扱う体制整備の準備を行う。	